資金分配団体 審査会議 議事概要

通常枠第 1 回 草の根活動支援事業・災害支援事業

1. **日時：**2024 年 8 月 26 日（月） 開会 13：00－閉会 16：00

2. **場所：**東京都千代田区内幸町 2 丁目 2 番 3 号日比谷国際ビル 314
   JANPIA　事務所内　大会議室、Zoom

3. **審査委員（敬称略）**
   - 石田 祐 関西学院大学 人間福祉学部 教授〈議長〉
   - 山内 亮太 株式会社 ESCCA 代表取締役
   - 米田 佐知子 子どもの未来サポートオフィス 代表
   - 菅野 拓 大阪公立大学 大学院文学研究科 人間行動学専攻 准教授
   - 中嶋 弓子 任意団体 東京おでかけプロジェクト 代表
   - 審査事務局：JANPIA

4. **議題**

   2024 年度通常枠 第 1 回草の根活動支援事業・災害支援事業の審査

5. **申請の状況**
   （1） 草の根活動支援事業：25 団体　25 事業
   （2） 災害支援事業：11 団体　11 事業

6. **議事の前提**
   - 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
   - 審査は、草の根活動支援事業、災害支援事業の区分ごとに行った。
   - 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。
   - 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理し、審査会議に臨んだ。

7. **議事要旨**

   審査委員 5 名の出席により、石田審査委員が議長を務め、審査を行った。 議事においては、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確認しながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。

なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申告があった事業については、当該団体の審査には加わらなかった。

〈利益相反自己申告の状況〉

・山内亮太
　―ほくりくみらい基金のコンソーシアム団体である特定非営利活動法人エティック
・米田 佐知子
　―全国こども食堂支援センターむすびえ

災害支援事業

申請のあった事業について、各審査委員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

（1）JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の３事業

以下の事業については、審査委員全員から推薦すべきとの意見があり、推薦することとした。

■　公益財団法人 ほくりくみらい基金

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

■　一般社団法人 KISA2 隊
　・　先駆的かつ意義深い唯一無二の事業を進めながら、運営体制の整備等についても指定活用団体と連携しながら推進されることを期待する。

■　特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム
　・　発災したエリアが本事業の直接的なカバーエリアでなかった場合の対策の事前検討や、アドボカシー活動を期待する。

（2）推薦を見送ることとなった事業：以下の８事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

■　一般社団法人 Anchor
■　一般社団法人 エコファーム推進機構
■　公益財団法人 佐賀未来創造基金

■　特定非営利活動法人 全国救護活動研究会
■　特定非営利活動法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ
■　公益社団法人 日本サードセクター経営者協会
■　一般財団法人 防災教育推進協会
■　特定非営利活動法人 宮崎文化本舗

草の根活動支援事業

申請のあった事業について、審査を実施した審査委員全員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

（1）JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 6 事業

以下の事業については、審査委員全員から推薦すべきとの意見があり、推薦することとした。

■　社会福祉法人全国盲ろう者協会

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

■　特定非営利活動法人地球と未来の環境基金
・　事業期間中に、休眠預金財源を使わずに地域分散型支援を実現していくための戦略づくりの検討を期待する。

■　公益財団法人 東近江三方よし基金
・　対人支援領域の活動への SIB 活用モデルとして、持続していく地域を目指し、市民や企業を巻き込むきっかけの一つとして機能していくことを期待する。

■　一般社団法人 ユヌス・ジャパン
・　新しい働き方が生まれる独自のアプローチ等より詳細にし、事業実施中に地域や行政への働きかけをしながら、形成したネットワークが行政支援を受けられるような流れを作ることを期待する。

■　一般財団法人 大阪府地域支援人権金融公社
・　短期アウトカムの目標値の設定が、少しでも初期値から改善すれば良いという設定になっているところ、資金投入の効果の幅を目標とし、事業の進捗過程で目標値についての改めての検討を望む。
・

■　一般財団法人中部圏地域創造ファンド

・　新しい指標をスタンダード指標として導入するにあたって、本指標が決められた背景に存在する議論を共有し、中身を明確にしていくことや、地域や分野の動向を踏まえ慎重に検討の上、丁寧に発信していくことが望まれる。

（2）推薦を見送ることとなった事業：以下の 19 事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

■　一般社団法人 OSAKA あかるクラブ
■　一般社団法人 シェアリングエコノミー協会
■　一般社団法人 社会デザイン・ビジネスラボ
■　一般社団法人 全国フードバンク推進協議会
■　特定非営利活動法人 新潟トラウマ治療協会
■　認定特定非営利活動法人 メドゥサン・デュ・モンド ジャポン
■　公益社団法人 ユニバーサル志縁センター
■　税理士法人ＴＡパートナーズ
■　株式会社 イベント・トゥエンティ・ ワン
■　一般社団法人 ウェルビーイング政策研究所
■　特定非営利活動法人 エデュケーションエーキューブ
■　公益財団法人 埼玉しあわせ未来基金
■　公益財団法人 ちばのＷＡ地域づくり基金
■　特定非営利活動法人 とちぎユースサポーターズネット ワーク
■　特定非営利活動法人 新座子育てネットワーク
■　一般財団法人 ひだ財団
■　認定特定非営利活動法人 北海道 NPO ファンド
■　認定特定非営利活動法人 わかやま NPO センター
■　一般社団法人 わの会

以上

資金分配団体 審査会議 議事概要

通常枠 ソーシャルビジネス形成支援事業・イノベーション企画支援事業

1. **日時：**2024 年 8 月 23 日（金） 開会 13:00－閉会 16:00

2. **場所：**東京都千代田区内幸町 2 丁目 2 番 3 号日比谷国際ビル 314
JANPIA　事務所内　大会議室、Zoom

3. **審査委員（敬称略）**
・永沢 映 特定非営利活動法人コミュニティビジネスサポートセンター 代表理事〈議長〉
・町井 則雄 株式会社シンカ 代表取締役社長
・山元 圭太 合同会社喜代七 代表
・山本 未生 一般社団法人 World In You 代表理事
・審査事務局：JANPIA

4. **議題**
2024 年度通常枠 第 1 回ソーシャルビジネス形成支援事業・イノベーション企画支援事業の審査

5. **申請の状況**
（1） ソーシャルビジネス形成支援：9 団体　9 事業
（2） イノベーション企画支援 ：16 団体　16 事業

6. **議事の前提**
- 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
- 審査は、イノベーション企画支援事業、ソーシャルビジネス形成支援事業の区分ごとに行った。
- 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。
- 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理し、審査会議に臨んだ。

7. **議事要旨**
審査委員 4 名の出席により、永沢審査委員が議長を務め、審査を行った。 議事においては、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確認し

ながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。
なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申告があった事業については、当該団体の審査には加わらなかった。

〈利益相反自己申告の状況〉

・なし

ソーシャルビジネス形成支援事業

申請のあった事業について、各審査委員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

（1）JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 2 事業

以下の事業については、審査委員全員から推薦すべきとの意見があり、推薦することとした。

■ 一般社団法人 ソーシャル・インベストメント・パー トナーズ

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

■ 株式会社 GHIBLI
- GHIBLI の既存事業拡大と捉えられないため、ノウハウ移転の方策などの工夫を期待する。

（2）推薦を見送ることとなった事業：以下の 17 事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

■ 株式会社 Dooox
■ 特定非営利活動法人 Kids Future Passport
■ 一般財団法人 town planning support group
■ イング総合計画株式会社
■ 小値賀地域ブランド製作所株式会社
■ 株式会社 オファサポート
■ 特定非営利活動法人 こどもたちのこどもたちのこどもたちのために
■ 特定非営利活動法人 住環境ネット
■ 一般財団法人 杉原千畝記念財団
■ 一般社団法人 生命環境産業振興協議会

■ 株式会社 全農ビジネスサポート
■ 公益社団法人 日本サードセクター経営者協会
■ 一般財団法人 日本未来創造公益資本財団
■ 公益財団法人 はまなす財団
■ 一般社団法人 ベンチャー投資育成研究会
■ 株式会社 ボーダレス・ジャパン
■ 株式会社 結設計

イノベーション企画支援事業

申請のあった事業について、各審査委員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

（1）JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 3 事業

以下の事業については、審査委員全員から推薦すべきとの意見があり、推薦することとした。

■ 特定非営利活動法人 OVA

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

■ 一般社団法人 全国フードバンク推進協議会
・ イノベーションの要素や、持続可能性への見通しをわかりやすくブラッシュアップし、また事業を推進するための人員体制を十分に確保して事業を推進することを期待する。

■ 公益社団法人 日本 WHO 協会
・ 団体の持つ専門性とネットワークをいかし、制度化なども視野に入れた国や行政との連携など、事業実施にあたっては中間支援の考え方を具体的な事業に落とし込んでいただくことを期待する。

（2）推薦を見送ることとなった事業：以下の 12 事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

■ 公益財団法人 B＆G財団
■ 一般社団法人 SDGs オープンイノベーションプラットフォーム
■ 一般社団法人 SINKa
■ 一般社団法人 グラミン日本

■　一般社団法人 さが・こども未来応援プロジェクト 実行委員会
■　公益財団法人 信頼資本財団
■　一般社団法人 全国古民家再生協会
■　一般社団法人 ソーシャル・インベストメント・パートナーズ
■　株式会社 ソシオエンジン・アソシエイツ
■　認定特定非営利活動法人 日本都市計画家協会
■　一般社団法人 宮崎オープンシティ推進協議会
■　株式会社 ワールド・ビジネス・ア ソシエイツ

以上